

2023年7月10日

テレビ局の現役社員が“リアルな現場”を語る 立命館大学で「読売マスコミ講座」



読売テレビと読売新聞が協力し、立命館大学産業社会学部で、毎年4月から7月に「読売マスコミ講座」を開講しています。

今回、読売テレビからは報道、制作、編成、営業、サステナビリティに携わる7人の社員が講師として教壇に立ち、「地上波の未来」「テレビ局の制作とは?」「サステナビリティ・プロジェクトから見るytvSDGsの戦略」など幅広いテーマで講義を行っています。

6月26日には、報道局の小林耕太郎カメラマンが「私、それだけではありません～企業内兼業のススメ～」と題した講義を行い、120名の学生が受講しました。

この日の講義では、小林カメラマンがこれまでに携わった番組をはじめ、2022年民間放送連盟賞テレビCM部門で優秀賞を受賞したキャンペーン動画『だから、並んで歩こう』を紹介。カメラマンには「瞬発力」「判断力」に加え、「表現力」が重要であると述べ、画面の構図やカット割りの方法についてクイズを交えながら解説しました。また、自らカメラマンの枠にとらわれず、企画のプロデュースも行っていることを実例に挙げ、「やりたいことを仕事にするために必要なこと」をテーマとしたグループワークを行いました。

学生からは「取材対象の自然な姿を撮影することは可能なのか」「報道カメラマンという仕事のやりがい」「取材で撮り逃したことは」など、たくさんの質問が行われ、活気あふれる講座となりました。



読売テレビ報道局の小林耕太郎カメラマン

「講義で学んだカット作りはすごく面白かった。ぜひ自分でもやってみたい」「映像を通して人に訴えかける、伝える、ということの価値に気づかされた」「いい映像を撮るために必要なことは、どんな業種の仕事をする上でも必要だと思った」などの感想が寄せられました。

読売テレビでは、今後も大学をはじめ、様々な教育機関、研究機関と協力し、若者を応援する活動を行ってまいります。

■読売テレビの活動に関して

<https://www.ytv.co.jp/sdgs/>